



## リフレクション通信

校外研修での学び等を初任者同士、初任者と指導教員等で共有できるように、「リフレクションシート」※の内容をまとめた「リフレクション通信」を発行します。指導教員だけでなく、**できるだけ多くの先生方で共有**していただき、**学校全体で初任者の成長を支援**していただければと思います。



## リフレクションシートとは…

昨年度から、兵庫県立教育研修所では、初任者の実践的指導力の向上を目指し、**校外研修・校内研修・実践を結び付けるため**、初任者が目的意識を持って研修に臨むとともに、自らの学びを振り返ったり、校外研修での学び等を指導教員と共有したりする際に活用できる「リフレクションシート」を作成しています。

「リフレクションシート」には、研修の内容ごとに、

- ・**研修に向けて** 【事前に記入】  
（学びたいこと、不安に思っていること、すでに取り組んでいること 等）
- ・**研修の振り返り** 【研修の直後に記入】  
（もっと知りたいこと、まだ悩んでいること、生かしたいこと 等）
- ・**指導教員\*より** 【研修後、学校で指導教員が記入】  
※初任者の指導に関わっている教員を指します  
（複数の教員が研修内容に応じて記入することも可能）



を記入することとしています。

各学校においては、以下の視点で「リフレクションシート」を活用し、初任者が校外研修での学びを実感し、実践とつなげるための支援をしていただければと思います。

- シラバスをもとに、「**どのようなことを学んでいきたいか**」を話し合う【研修前】
- リフレクションシートをもとに、「**どんなことを学んできたか**」「**今後どんなことに取り組みたいか**」話し合う【研修後】
- リフレクションシートに、**初任者が自信を持ち、実践につながる励ましのコメント**を書く【研修後】
- 初任者が実践を行う際に、**研修内容を踏まえたアドバイス**を行う【研修後】

昨年度のリフレクション通信や若手教員の指導力向上に向けた資料は、右の二次元コード、下の URL からダウンロードすることができます。

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu/stepup/con2/Gwakate.php>



# 校種別で行う研修(第1回)「資質・能力を育む授業づくり」

第1回の研修は、授業づくりの基礎として、

- ①本時の目標を基にした、具体的な「めざす子どもの姿」(ノートやワークシートへの記入内容、振り返り、授業途中の子ども達の発言 等)
- ②「めざす子どもの姿」を踏まえた、本時の目標に迫る「めあて」の設定
- ③各場面の「めざす子どもの姿」に向けた学習活動の工夫 等

について、講義・演習を通して考えました。

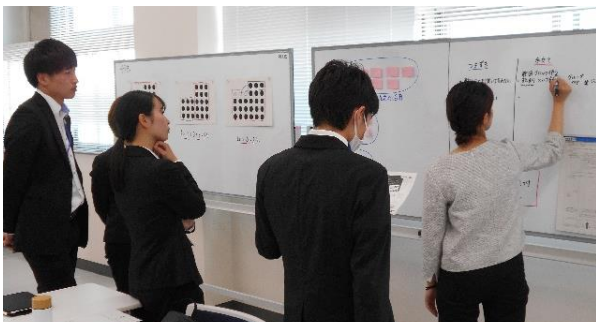
## 【小学校】

### ○研修に向けて

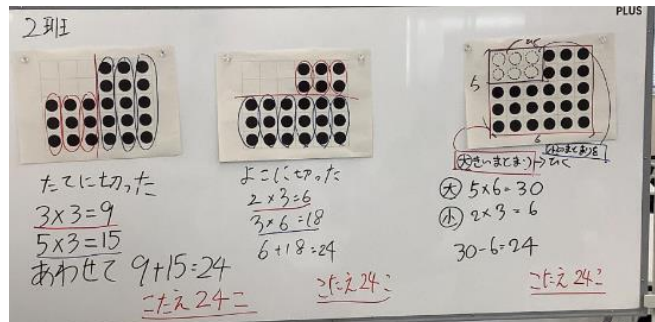
- ▶授業づくりをする上でのポイントを学び、普段の授業実践に活かしたいです。授業の組み立てがいつも指導書通りになり、子ども達の実態に合わせられていないと感じます。また、評価のことを考えた授業づくりができておらず、後になって困ってしまったことがあります。
- ▶授業準備に時間をかけられておらず、どのようにすればよいのかもあまり分かっていない状態です。指導書を参考にしつつ、子ども達の実態に合わせて少しずつ変えようとしている段階です。

### ○研修の振り返り

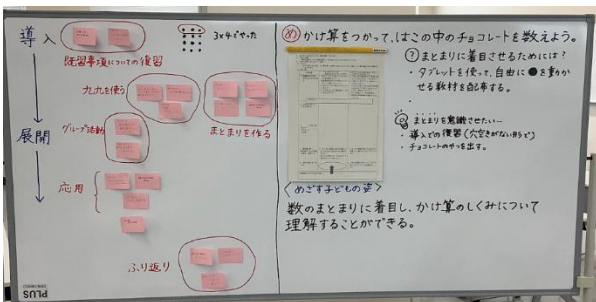
- ▶日々の授業の中で授業前と授業後の子ども達の変容を意識し、めざす子どもの姿を考えられるというお話がとても参考になりました。改めて日々の授業の1時間1時間で子どもに到達してほしい目標を設定し、そこへ向かうための授業づくりを今後も続けていきたいです。
- ▶授業をするにあたり、子ども達にどのような力を身に付けさせたいかを考えることが大事だと改めて感じました。そのためには、教員が1時間のねらいをしっかり持つておくこと、それに沿っためあてを設定することが必要だと学びました。また、その1時間単独の授業ではなく、既習事項を用いて考えさせることや、その学びが将来どのように生きるかまでを考えることも大事だと学びました。



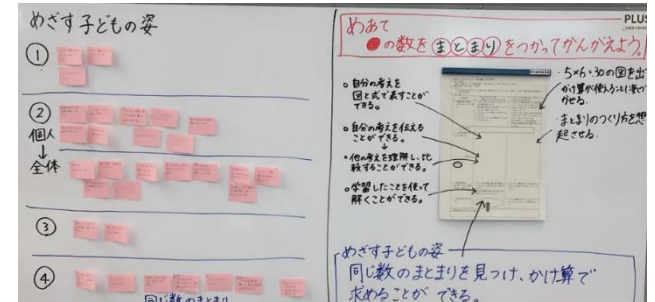
個人で考えたことを班で出し合い、ホワイトボードに整理しています。



既習事項(九九)を生かして、問題を子ども達にどのように解いてほしいかを想定しました。



本時のねらいを踏まえて、めざす子どもの姿を具体的にイメージし付箋に書き出しました。



めざす子どもの姿に迫るためのめあてや手立て等を具体的にイメージし、授業案に落とし込んでいきました。



## 【中学校】

### ○研修に向けて

- ▶ 普段の授業では、十分に本時のねらいを意識して取り組めていない部分もあるので、この研修を機に「授業のねらい」を明らかにして授業ができるようになりたいです。
- ▶ 授業の展開方法や具体的な発問や指示、予想される生徒のつまずきなどについて、他の先生方と話し合ったり意見を聞いたりしながら、自分にはない考えや方法をどんどん吸収したいと思います。ねらいやめあてに基づいて、どのような方法が有効なのか、どのように工夫ができるのかという点について、知識も増やしながら、今よりも良い授業が作れるようになりたいです。

### ○研修の振り返り

- ▶ めざす子どもの姿から、授業展開を考えていくことを学びました。めあてが授業のねらいに沿ったものになると子ども達が見通しをもって取り組めることを学びましたが、教員も授業展開が明確になり、板書を含め一貫性のある授業展開を生み出すことができるのではないかと感じました。
- ▶ まず、子ども達にどのような力を身に付けさせる授業なのかを思い描き、それに沿ったねらいを設定することが大切だと分かりました。そのねらいに対して明確な授業づくりを心がけたいと思います。また、演習を通してさまざまな考えや知識を得ることができたので、他の先生の意見も参考に自分なりの答えを見つけていきたいです。



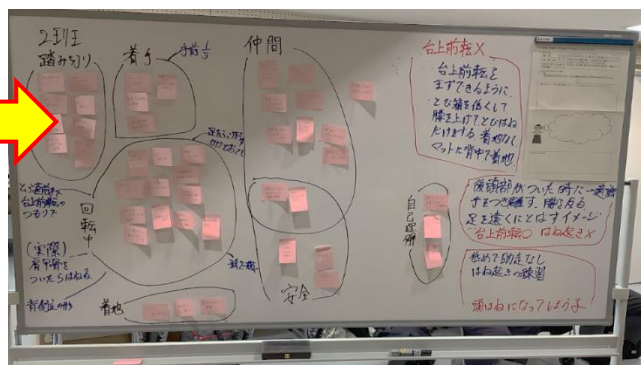
【音楽科】鑑賞教材である「魔王」を用いて、めざす子どもの姿をイメージしています。写真は、めざす子どもの姿を基に授業プランを考えている様子です。



【外国語科】全国学力・学習状況調査の結果から、求められる資質・能力を分析し、教科書と関連付ける演習を行いました。写真は全体発表の様子です。



【保健体育科】首はね跳びの実技をととして、めざす子どもの姿として「子ども達に分かってほしいこと・できるようにしてほしいこと」を考えました。



【保健体育科】実技をととして考えためざす子どもの姿をホワイトボードに整理しました。その後、めざす子どもの姿に迫るための手立てやつまずきに対する支援を考え、ホワイトボードに追記していきました。

※ 他教科においても、教科に応じた教材や題材をととして、めざす子どもの姿を考えていきました。他教科の演習の様子は次回以降、お伝えしていきます。